



「武道を知ろう」  
中学校・高等学校  
武道研修講座  
総合教育センター体育館

「漬物づくりに挑戦」  
勤労生産学習研究推進校  
湯沢市立須川中学校



## 総合教育センターだより

### ◇ — も く じ — ◇

- 勤労生産学習研究推進校から…………… 1
- 中学校・高等学校武道研修講座から…………… 1
- 教員の素質・資質・力量について…………… 2
- 外からの風…………… 3
- 第10回秋田県教育研究発表会案内…………… 4
- 研究のアシスタント…………… 4

平成7年12月14日発行

### 秋田県総合教育センター

〒010-14 南秋田郡天王町天王字追分西29番地の76

TEL 0188 (73) 7200 (代表)

0188 (73) 7206 (すこやか電話相談)

FAX 0188 (73) 7201

パソコン通信 0188 (73) 7207 (代表)

パソコン通信 0188 (73) 7210 (FAX)

0188 (72) 1020 (INS64)

# 教員の素質・資質・力量について



次長 阿部正紀

総合教育センターとして出発してから8か月が過ぎようとしている。開所当初、センターの周りの芝や草木もうまく育つかどうか心配な状態であったが、夏が近づくとともに見違えるほど生き生きとし、改めて自然界のたくましさを感じさせられた。

研修についても、保健体育部門の新設や、最新の施設設備の活用による講座・全校種にわたる、オープン参加のできる講座の開設など、従来と異なる企画も含め、順調にすすんできている。

秋田県の教職員の研修の体系化も3回目の改訂が行われ、今年度から実施に入っているのを機に、「教師の素質・資質・力量」について考えてみたい。

## 1 素質について

日本国語大辞典によると、「生まれつき備えている性質」とあり、また、JAPONICAによると、「心身の生まれつきをいう」とあり、W. Wundt と J. F. Brown の考え方を載せている。ブント説は、素質を身体的要素（体質）と精神的素質（知的素質—知能、情緒的素質—気質、意志的素質—性格）に分けて考えている。ブラウンの説は、「素質とは現代科学によって影響を与え得ないもの」とし、身体的素質（大部分は素質）、知能（半分は素質で半分は環境）、性格（大部分は環境による）となっている。つまり、素質とは、生まれつき備えている性質（狭義）ではあるが、後天的に獲得されたものをも含む（広義）、弾力性のあるものと考えられることだと思う。

それでは、「教師の素質」とは何を指しているのだろうか。お茶の水女子大学の森隆夫教授は、田中耕太郎氏の「教師の素質ある人とは、親の愛に限りなく近い人である。」を引用され、「生まれつき親の愛に近い愛を子供に持てる教師がいる。あるいは、そうなるべく努力している人がいる。その人を教師の素質ある人と呼んでいいのではないか」と述べている。（「月刊高校教育」1988.12月号）そして、親の愛と教師の愛の違いは「公平」、「無報酬」の点にあるとしている。これは明らかに、ブントの情緒的素質、意志的素質に位置し、ブラウンの「環境」により、「そうなるべく努力する」ことによって獲得できるものであり、「報酬」の点からいうと、「報酬」を得ている教師にプロフェッショナルが求められるゆえんであると思う。

## 2 資質について

「教員の資質の向上」は教員研修のキーワードであるが、教員の資質とは何を意味するのであろうか。

中教審、「教員の資質能力の向上について」の答申（昭53.6.16）によると、国民が教員に対して望む基本的認識事項として、①広い教養 ②豊かな人間性 ③深い教育的愛情 ④教育者としての使命感 ⑤充実した指導力 ⑥児童・生徒との心の触れ合いなどをあげている。また、筑波大学の鈴木博雄教授は、ヘルバルトの教授理論から導き出される望ましい教師の資質・能力として、

- ① 幅広い教養と人間や社会、歴史についての深い洞察力、考察力、判断力
- ② 良き教育的関係を保持する柔軟さ、包容力
- ③ 生徒の心を伸びやかに広げるような指導と態度
- ④ 教育理論と教育実践とを媒介・統合する能力
- ⑤ 教育的教授を実践する能力
- ⑥ 生徒理解ときめ細かい指導 をあげている。

いずれも、「資質能力」として捉えており、教師の資質は、人間性と専門性から成り立つとともに、この二つが相互に補完しながら望ましい教師へと成長するものであることを示唆している。

## 3 力量について

「力量」は本来、資質の専門性に係るものであるが、奈良教育大学の中留武昭教授は、「技術的能力」を指すものとして捉えている。中留氏は、教授力量（教育課程、教育方法、教育評価、教育機器、情報処理など）、児童・生徒指導の力量（教科以外の領域の指導、進路指導、学業不振児指導など）、組織的力量（学年・学級経営、事務処理など）の三領域に分け、更に、経験年数別、職務別に必要とする力量を論じている。

教師にとって必要な力量は、時代の要請によって大きく変化するものであり、現代のように社会の変化が激しければそれだけ一層その時代の、更には、来たるべき時代の要請を見通し、それに対応できる資質・力量を身に付けることが求められるのである。

当センターも時代の要請を見据えながら、授業に密着した講座、受講される先生方が「自分たちで作る」講座など、一層充実した講座になるよう努めたいと考えている。

# 外からの風

—平成7年度 教職と人生シリーズを終えて—

教職研修部長 安井 信雄



当総合教育センターでは、教職員がライフステージに応じた職能分化に対応できる力量を高めるとともに、人格の陶冶を図り、多角的に学校教育及び教職の在り方について考える機会が得られるよう、各界からそれぞれの道について造詣の深い有識者を講師として招聘するように努めてきている。これは一つには、教育界にできるだけ「外の風を入れたい」という橋本教育長の意向を反映したものである。

「教職と人生シリーズ」は、このような考え方に基づいて、比較的受講者の多い年次別、職務別研修講座に組み入れたものである。今年度、本シリーズの講師をお願いしたのは、企業経営者1名、芸術家1名、医師1名、元校長1名、現職校長1名であった。それぞれの道に向かう厳しい姿勢とともに豊富な体験談やその体験を通して得られた貴重な人生観を披露して頂き、受講者に大きな感銘と示唆を与えてくれた。この度、シリーズを終了するに当たり、演題及び講師の先生たちのお名前を、印象に残った言葉と共に紹介させて頂きたいと思う。

## 1 忘れえぬ子供・教師

講師 男鹿市立五里合小学校長 新出和子氏

・「人皆に美しき種あり」という言葉どおり、一人一人の子供には固有のよさや豊かな可能性がある。しかし、教師の側から近づいていってそれを見抜き、口火をつけてやらないと、それらは生かされないものである。

・子供は教師がどれだけ自分を認め、思っているかを見抜いているものだ。とかく、子供が思うようにいかないと考えがちだが、献身的な一人の教師の姿から教師の思いは必ず通じることを学んだ。

—小学校新任学年主任研修講座—

## 2 ボランティア活動に生きがいを求めて

講師 ニコニコ苑理事長 稲庭千弥子氏

・日本の長寿は保険と医療のバランスの良さにあるが、これに「福祉」を加えて3つの調和を図っていくことが必要であると思う。

・障害者本人が望んでいる医療福祉は、「地域との交流を促進する役」と「ボランティア活動の育成」である。このような視点から医療法人久幸会は3年前、ソーシャルコーディネーター部門を新設した。また、翌年にはボランティア教室も開設した。これによって、地域と障害者の交流が大幅に拡大し福祉社会づくりに向けて動き出すことができた。

—小・中教職経験者（10年経過）研修講座—

## 3 百姓彫りの嘉左エ門の生き方

講師 彫刻家

皆川嘉左エ門氏

・私は百姓として生きていく決心をし、十文字町に土着している。彫刻は趣味として始めたが、生活に根ざした百姓の表情や感情を表現することは自分にはかできないと思うようになり、百姓彫りに打ち込むことにした。

・農村の風景には芸術的な彫刻が合うだろうと思い、減反した田んぼに個展を開いた。いろいろ問題もあったが続けていきたい。百姓彫りを残すことで自分が生きた証にしたいと思っている。

—小・中新任研究主任研修講座—

## 4 人生劇場の配役

講師 元秋田市立山王中学校長 船越準蔵氏

・昔、母から「人の配役は神様がお決めになるもの」と教えられたが、天はわざと人を適役からずらして配役しているようである。それによって、人は他人の助けが必要であることを悟るとともに、役を全うするために努力することを学ぶのである。助け合って生きることこそが人間性の中核であり、その人間性を守るための最後の砦が学校ではないだろうか。学校は自分の個性を持ち寄って助け合って生きる場でありたいと思う。—生徒指導総合研修講座—

## 5 男のロマンを求めて

講師 西根木材有限会社社長 西根 正氏

（戦争という不幸な体験を回想し、戦友を思う今の心境を語ってくれた。）

・中隊150余名が全滅したとき、奇跡的に生き残った4名は一時は死を覚悟したが、「死ぬことはいつでもできる。生きて祖国に帰り、この顛末を伝えることこそ自分たちの使命なのだ」と考え、孤島での苦難の生活を始めることになった。

・帰国の際にオランダの軍曹から、「やがてまた、このニューギニアの地に日本人が多数やってくる日がくるだろう。その時には、今までのように、すぐに他人を殴ったり殺したりしないように全国民に伝えて欲しい」と言われたが、その言葉が今も耳を離れない。

—小・中新任教務主任研修講座—

教職と人生シリーズ以外の講座においても上記の考え方に基づいて多彩な講師をお迎えすることができた。中でも、美しいスライドをバックに、軽快な語り口で13曲のシャンソンを解説し、受講者を魅了した日本シャンソン協会理事黒崎昭二氏の講座は、講座編成を考える上で大きな示唆を与えてくれた。

秋田県総合教育センター主催

第10回秋田県教育研究発表会

期日 平成8年2月14日(水)・15日(木)

会場 秋田県総合教育センター

記念講演

演題

「21世紀の教育を展望する」

—— 中教審への期待 ——

国立教育研究所

所長 菱村幸彦氏



日程

		10:00	11:00	12:00	13:00	15:45	17:00
14日 (水)	受付	教育研究奨励賞授賞式 教育研究発表会開会式	秋田県総合教育センター 各研修部研究発表	昼食 休憩	教育研究奨励賞研究発表 分野別研究発表 (分科会)		内覧会
企画展 (ふるさと教育展等)							

		9:30	10:40	12:15	13:00	13:45	15:15
15日 (木)	受付	分野別研究発表 (分科会)		昼食 休憩	分野別 研究発表	記念講演	
		フォーラム					
企画展 (ふるさと教育展等)							

参加申込 / 12月上旬「第2次案内」を各学校等へ配布します。

研究のアシスタント

総合教育資料室

総合教育資料室では、全国の学校教育に関する資料を収集・整理・保存しています。現在、教育図書や、県内外の教育研究所、教育機関等から恵与された研究資料が3万冊以上保管されています。

これらの貴重な資料を、より多くの方々の教育研究や研究実践に役立てていただくため、レファレンスサービスを行っております。既刊の件名目録を御覧のうえ、気軽にお問い合わせください。また、資料室のパソコンを使っての資料検索が、今年度からパソコン通信によっても可能となり、いっそう利用しやすくなりました。件名目録による資料検索と同

様御利用ください。

1. 利用期間 土曜日、日曜日、祝日、年末年始の  
休日を除く毎日
2. 利用時間 9:00~16:30
3. 閲覧 資料室内で自由に閲覧できます。
4. レファレンスサービス
  - (1) 図書・資料の相談・照会にお答えします。  
また、必要に応じて複写サービスも行います。
  - (2) 電話や文書による相談にも応じます。
  - (3) コピー代、送料は実費とします。